

「安全衛生総合会館」がオープン —安全衛生情報・サービスの発信基地—

中央労働災害防止協会

総務部 浅田 和哉

働く人の安全と健康を総合的に推進する拠点として、「安全衛生総合会館」が、1月18日(火)、東京・港区芝にオープンしました(写真1)。

安全衛生総合会館は、事業場の自主的な安全衛生活動を支援し、働く人の安全と健康を総合的に推進するための施設として労働省により建設され、中央労働災害防止協会が労働省の委託を受けてその運営に当たっています。

安全衛生総合会館が建設された場所は、戦前から労働安全衛生に貢献されてきた民間の方の寄附により、昭和18年に産業安全研究所・安全博物館として建設されたところです。その後、敷地内では、中央労働災害防止協会を始めとする労働災害防止団体が事業主等の行う安全衛生活動に対して各種支援事業を実施しており、この場所は、我が国における“安全衛生のメッカ”と言われております。

建物の概要は、14階建て(地下2階)で、1階には、インフォメーション・コーナー、安全衛生に関する出版物・用品を展示する「安全衛生図書用品展示コーナー」が設置されています。2階～4階には、高度視聴覚媒体を用いて危険状態・災害を仮想体験できるバーチャルリアリティ(VR)・シアター、3Dシアター、インターネットにより安全衛生情報を提供するシステムやビデオ・オン・デマンドで安全衛生情報の収集等を行える図書室、技能講習修了証明書の統合発行システム等を整備した「安全衛生情報センター」が設置されています。5階～7階と14階には、働く人のトータルな健康づくりを行う「心と体の健康づくり(THP: Total Health Promotion Plan)」の施設で、運

動負荷試験室、トレーニング室などを備えた「健康保持増進センター」が設置されています。8階～13階には、化学物質等の環境調査・分析測定、健康診断、技術開発、調査研究等の技術サービスを行う「労働衛生検査センター」が設置されています。

「安全衛生情報センター」

高度情報化社会に対応し、安全衛生情報を多角的に提供する施設で、インターネットによる情報提供のほか、世界初のバーチャルリアリティ



写真1 安全衛生総合会館全景

(VR) による労働災害の疑似体験シアターなどに事業場等の関係者から高い関心が寄せられています。

わが国の労働災害は、全体として長期的には着実に減少してきていますが、今なお、年間約60万人もの労働者が被災しているほか、2,000名近くの方が亡くなられています。労働災害を効果的に防止するためには、過去において実際に発生した具体的な災害事例、ヒヤリハット事例や新たに導入する技術、機械、化学物質等に関連する安全衛生情報に基づいて、設備や作業に潜むリスク（危険有害要因の重篤度と発生確率）を的確に把握し、リスクの除去・低減のための有効な対策を計画し、着実に実施していく必要があります。

一方、21世紀を間近に控え、インターネットやバーチャルリアリティ（VR）等のインフォメーション・テクノロジー（IT）が急速に進歩し、私たちの日々の暮らしにも浸透してきており、これまでは不可能だった瞬時の情報共有や膨大な情報検索、シミュレーション体験が可能になってきています。

労働省では、このようなインターネットを通じた安全衛生情報の提供などによって事業場の安全衛生活動を支援し、また、広く国民全般の安全と健康に対する関心を高めることを目的として安全衛生情報センターを設立することとなり、中央労働災害防止協会が労働省の委託を受けてセンターの運営を行っています。

「安全衛生情報センター」が行うサービスは次のとおりです。

●インターネットによる安全衛生情報の提供のほか、コンピュータによるビデオ検索システム（ビデオ・オン・デマンド※）、図書等様々なメディアによる最新の安全衛生情報の提供

●バーチャルリアリティ（VR）と立体映像（3D）を用いた危険状態・災害の疑似体験

●技能講習修了証明書統合発行システムの運営
※今後導入予定

●フロアの主な施設

2F バーチャルリアリティ（VR）シアター



写真2 安全情報センターインターネットホームページ

立体映像（3D）シアター

3F 技能講習修了証明書発行受付

4F 図書室

1. 安全衛生情報の提供

(1) インターネットのホールページ (<http://www.jaish.gr.jp>)

最新の豊富な安全衛生情報をインターネットで提供します(写真2)。次に示す労働災害事例等のデータベースは、業種や設備などのキーワードによって容易に検索することができます。

イ) 労働災害事例

死亡災害や重大災害などの事例について、発生状況や発生原因を紹介します。知りたい災害事例は業種、機械設備や災害の種類などのキーワードで容易に検索できます。

ロ) ヒヤリ・ハット事例

ヒヤリ・ハットの事例を紹介します。知りたいヒヤリ・ハット事例は、機械設備やヒヤリハット状況などのキーワードで容易に検索できます。

ハ) 機械設備、作業等の工夫・改善事例

「安全・衛生・快適考案」の入賞作品など

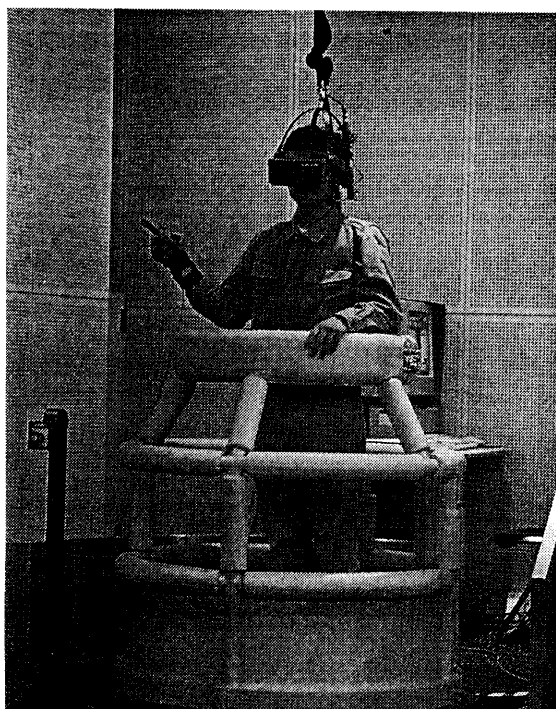


写真3 パーチャルリアリティ（VR）での体験

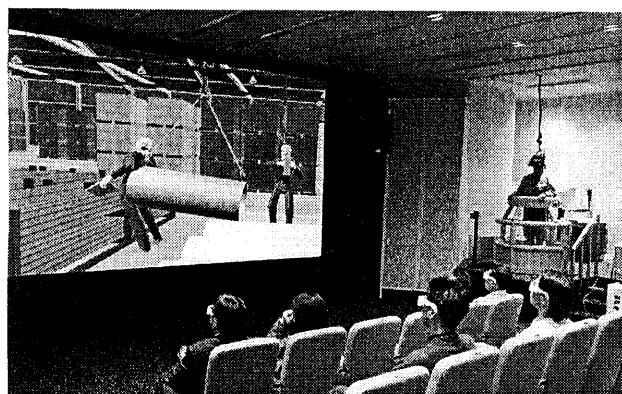


写真4 VRシアター内風景

から、すぐれた工夫、改善の取組みの詳細を紹介します。知りたい工夫・改善の事例は、キーワードで容易に検索できます。

二) 職場の快適化事例

快適職場づくりの様々な事例を紹介します。職場の快適化を進めるためのヒントを見つけてください。知りたい事例は、キーワードで容易に検索できます。

ホ) 化学物質情報

労働安全衛生法に基づいて公表された既存化学物質が、容易に検索できます。そのうちの約500物質については有害性情報も容易に



写真5 仮想体験メニュー「ビル建設編」から

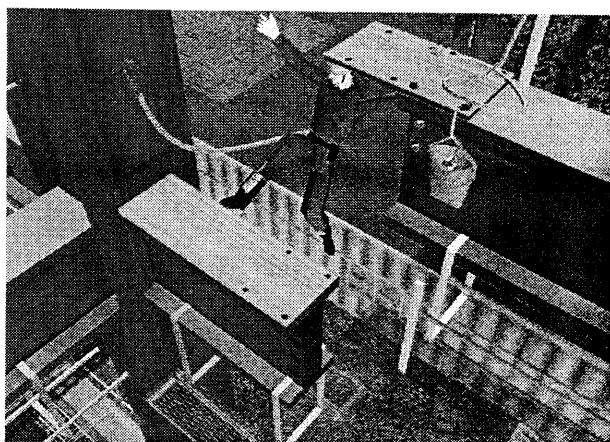


写真6 仮想体験メニュー「土木建設編」から

検索できます。

へ) 調査研究情報

中央労働災害防止協会や安全衛生関連団体などの調査研究成果の概略を紹介します。知りたい調査研究は、フリーワードで容易に検索できます。

ト) 労働災害統計

死亡災害件数、死傷災害件数、度数率、強度率、災害要因分析などの統計表を、過去にさかのぼって閲覧できます。

チ) 法令情報

労働安全衛生法、労働安全衛生規則、関連通達、その他安全衛生についての法令を閲覧できます。

リ) お知らせ

行政の動き・プレス発表内容などホットなニュース、中央労働災害防止協会など災害防止団体・安全衛生関連団体の業務情報、ニュースなどをお知らせします。

ヌ) その他

判例情報、安全衛生活動の工夫・改善例などを紹介します。

(2) 図書室

図書室（4階）には内外の安全衛生関連図書を開架方式（一部閉架）でご覧いただけます（コンピュータによる蔵書検索も行うことができます）。また、インターネット検索用コンピュータ、安全衛生関連ビデオをご覧いただけるビデオ・オン・デマンド（今後導入予定）もご利用いただけます。

2. 危険・災害の疑似体験

(1) バーチャルリアリティ（VR）シアター

VRシアターでは、体験者がコンピュータの作り出す仮想（VR）の作業現場空間に入り込んで、安全パトロールを行い、通常では体験できない危険な状態・災害を仮想体験することができます（写真3～6）。

体験者の行動・動作は、リアルタイムにスーパーコンピュータ内に取り込まれ、コンピュータ・グラフィックス（CG）によるインタラクティブな仮想空間体験が進行していきます。また、仮想空間での体験者の行動は、200インチの大スクリーンに立体映像として映し出され、体験者以外の視聴者も体験者と一緒に安全パトロールを行っているかのような迫力です。体験者は、仮想空間映像とシンクロした音と振動によってリアルに災害の発生状況を「体感」できます。

●シアター定員：20名（体験者を含みます。）

●午前・午後各1回上映

●仮想体験メニュー

◆金属製品製造編

- ・クレーン作業現場
- ・パワープレス作業現場
- ・溶接作業現場
- ・塗装作業現場
- ・倉庫内運搬作業現場
- ・産業用ロボット作業現場

（今後順次提供予定）

◆ビル建築編

- ・掘削作業現場
- ・鉄骨梁、組立作業現場
- ・移動式クレーンによる荷降ろし作業現場
- ・溶接作業現場
- ・ビル建築現場の鋼製足場
- ・塗装作業現場

◆土木建設編

- ・地山掘削作業現場
- ・管敷設作業現場



写真7 3D上映メニュー
「建設業編」から

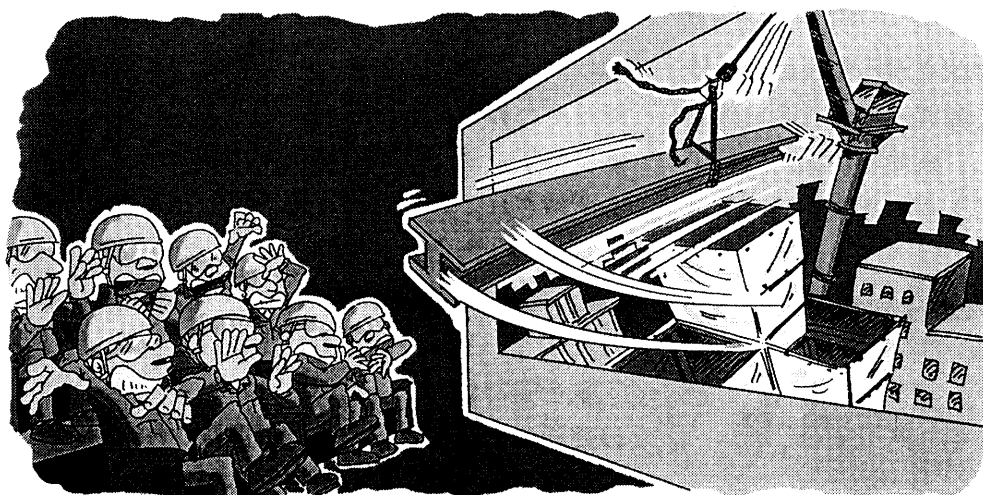


イラスト1

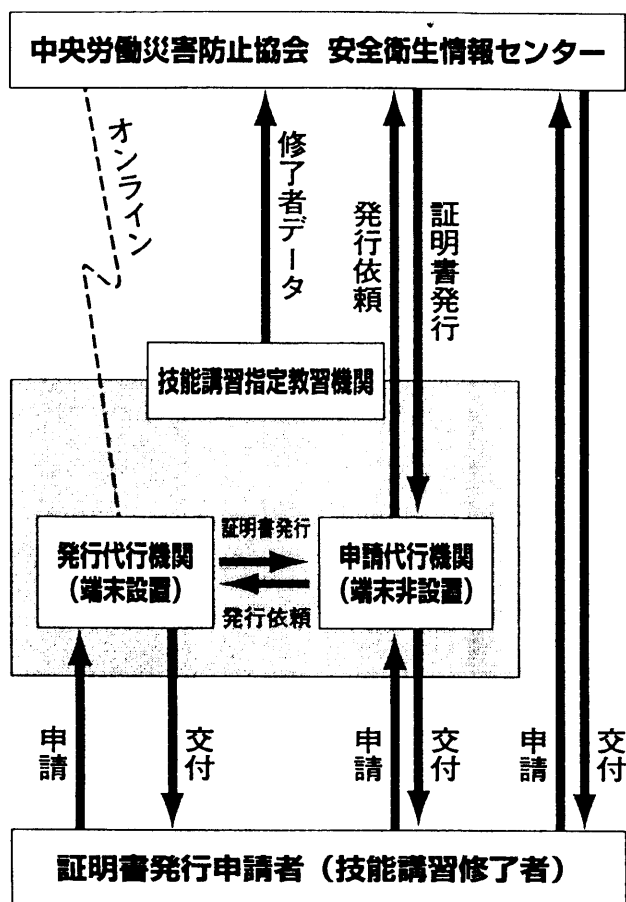


図1 技能講習修了書の統合発行

- ・埋め戻し、転圧作業現場
- ・搬出・撤収作業現場

◆食料品製造編

- ・食材加工作業現場
- ・おにぎり加工ライン現場
- ・倉庫内作業現場
- ・厨房現場

(2) 立体映像 (3D) シアター

3Dシアターでは、視聴者が作業現場におけるヒヤリ・ハット事例を臨場感あふれる立体映像（3D）で疑似体験し、危険な状態、対策等について理解を深めることができます（イラスト1、写真7）。

- シアター定員：60名
- 午前1回、午後3回上映
- 3D上映メニュー

◆製造業編

- ・転倒

労働安全衛生法による技能講習修了証明書

修了証明書番号 H11000001600	
氏名	齊 浩 二
生年月日	昭和 39年 03月 09日 性別 男性
本 籍 地	東京都
発 行 日	平成 11年 12月 06日
有無 ● ● ● ● ● 修 習 内 容 登 造 脚 不 溶 フ ジ シ 床 カ コ 土 土 す ず 型 足 鉄 コ 鋼 地 地 地 地 所 オ ヨ 珪 ク ス 波 山 止 控 掘 場 骨 骨 構 保 本 は 絶 対 不 可 欠 化 工 木 乾 二 特 許 有 限 公 司 石 建 一 内 取 組 工 作 別 業 職 業 公 館 有 無	
発行機関 中災防 安全衛生情報センター	

写真8 技能講習修了証明書

- ・挟まれ・巻き込まれ
- ・墜落・転落
- ・飛来・落下
- ・激突され

◆建設業編

- ・墜落・転落
- ・切れ・こすれ
- ・激突
- ・挟まれ・巻き込まれ

- ・飛來・落下

(今後提供予定)

◆陸上貨物運送業編

- ・転倒
- ・激突され・転倒
- ・挟まれ・巻き込まれ
- ・動作の反動・無理な姿勢
- ・転落
- ・飛来・落下

3. 技能講習修了証明書の統合発行

労働安全衛生法に基づく技能講習修了証については、技能講習を実施した全国の指定教習機関がそれぞれ独自に交付しているところですが、技能講習修了証は、仕事の必要性からひとりで何種類も所持されている方が多く、携帯が不便で、修了証が破損、汚損しやすいなどの指摘があり、また、資格照会などのサービスが短時間でできるようにして欲しいといった要望も出されていました。

統合発行システムは、これらに対応して労働省の委託により指定教習機関に保管されている有資格者のデータを中央のデータベースで一括管理し、

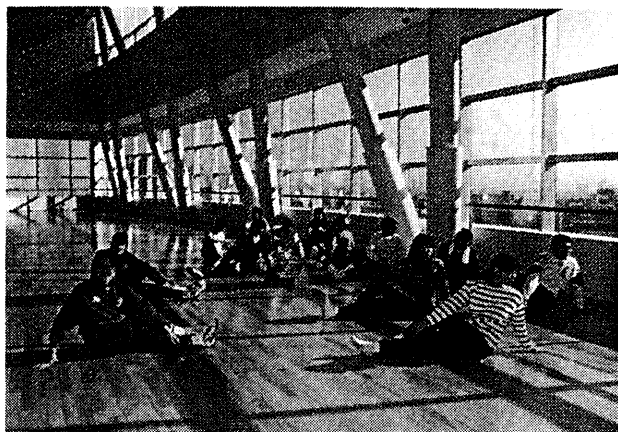


写真9 THP ホール

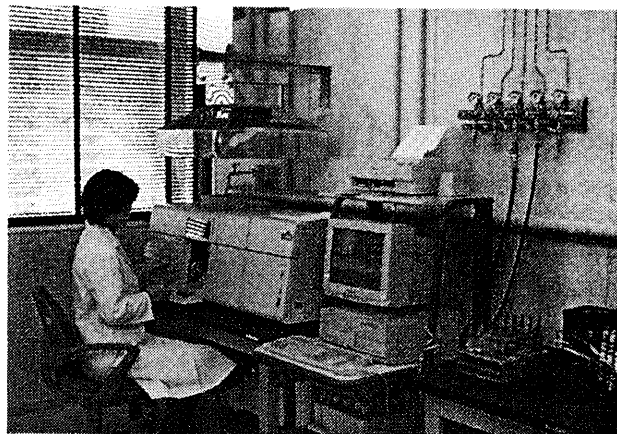


写真10 分析機器室

複数の資格所持を1枚で証明するカード「技能講習修了証明書」の発行を行うものです(写真8)。

技能講習修了証明書は、安全衛生情報センターのほか、センターとオンラインで結ばれた全国の発行代行機関(約150機関)および申請代行機関(約90機関)で受付、発行を行います(図1)。

「健康保持増進センター」

健康保持増進センターは、事業場の健康づくり活動への支援・情報提供、健康づくりスタッフの養成研修の実施等「働く人の心と体の健康づくり(THP)」事業を推進する拠点として位置づけられています。

この健康保持増進センターでは、運動負荷試験室、トレーニング室、THP ホール(写真9)など充実した研修設備を活用して、健康測定、運動指導、産業保健指導、産業栄養指導、心理相談等の指導者養成を行うほか、THPを推進する機関の育成、健康づくりに関する教材開発、調査研究等を行っています。

また、平成12年度からは、労働省からの委託を受け、中小規模事業場を対象に無償で事業主THP体験研修、事業場THP導入指導等を行う「中小規模事業場健康づくり事業」も実施することを計画しています。

「労働衛生検査センター」

労働衛生検査センターでは、高精度・高感度の

分析機器を備えた分析機器室(写真10)、X線回折室、疫学室、レントゲン室、健診室などの設備を備え、事業場等からの依頼に基づき、従来から行ってきた作業環境の調査・分析測定、特殊健康診断に加え、一般健康診断とじん肺健康診断を実施しています。また、国や民間からの依頼に基づき、化学物質等の健康影響調査、疫学調査など専門的な技術サービスの提供するとともに、労働衛生関連の技術開発を行っています。これらのノウハウを活かして、労働衛生検査センターでは、事業場のニーズに応じた労働衛生管理を総合的にサポートしていきます。

安全衛生総合会館のご利用については、次のとおりですので、ご来館、ホームページへのアクセスをお待ちしております。

- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 土曜日・日曜日・祝祭日
年末・年始(その他臨時に休館する場合があります。)
- 入館料 無料(安全衛生情報センター)
- 所在地 〒108-0014 東京都港区芝5-35-2
- 電話 03-3452-6841(代表)
03-3452-3370(VRシアター・3Dシアターの予約専用)
- ホームページ <http://www.jisha.or.jp>(代表)
<http://www.jaish.gr.jp>(安全衛生情報センター)